



こんにちは 府会議員

# さこ祐仁 活動報告

2009年1月4日発行 No.70  
千本出水下る十四軒町392  
さこ祐仁事務所  
Tel075-813-2117

## 大企業による派遣社員・期間社員の大量「首切り」は絶対に許せない！ 京都府は、府民の雇用・営業・くらしを守る緊急の手だてをとれ！

○新しい年を迎える決意

上京区の皆様には、いつも大変お世話になっております。新年もよろしくお願いいたします。



08年9月の、南区京都市会補欠選挙での日本共産党の勝利は、政令市として初めて「後期高齢者医療制度の廃止の意見書」を1票差で可決させました。「政治は国民の声で変えられる」ことを示しました。

いま、派遣切り、就職内定取り消し、下請けいじめなど、大もうけしている大企業が、体力があるのに、率先して国民につけをまわすことが起こっています。こんな理不尽なことを許していいわけがありません。

京都でも全国でも闘いが始まっています。09年は、「生活危機突破の闘い」をいっそう広げ、政治の転換をはかりましょう。あきらめないで、雇い止め、経営、生活問題などお困りの方、ご相談ください。



写真(上) 12/20に行なわれた、上京区怒りのデモに、45人が参加。商店街の方も顔を出して手を振ってくれる。バスを待つ人も「何とか雇用を守ってくれ」と激励の声がかかりました。

○京都府に対し、雇用・くらし守れの緊急申し入れをおこないました！

日本共産党府会議員団は12月22日(月)、山田府知事に対して「年末・年始の雇用・営業・暮らしのちを守る緊急対策」の実施を求める緊急の申し入れを行いました。

年末年始をむかえ、府民の暮らしが急激に厳しくなっています。大企業の非正規労働者への「派遣切り」「雇い止め」があらゆる企業に広がり、正規雇用者にも影響が出てきています。また、中小業者は受注の激減と消費不況により営業や資金繰りが深刻になっています。

こうした中、「住む場所もなくなる」など、深刻な事態も起こっています。この間、府域全体を訪問して懇談・調査を行い、その実態と出された要求にもとづき、京都府に対し、原油価格高騰緊急対策や生活危機突破対策など数度にわたり、その対策を申し入れてきました。

京都府緊急経済・雇用対策本部の設置、補正予算をはじめ一定の努力はあるものの、この間の急激な事態に、「このままでは年を越せない」と切実な声も出されており、府民の雇用・営業・暮らしのちを救済することは急務です。国・市町村と連携し全力をあげるよう、以下の緊急の申し入れを行いました。

一点目が雇用を守る緊急対策、二点目が中小企業・建設業等の営業を守る緊急対策、三点目がくらしのちを守る緊急対策の内容です。府は「派遣元1065事業所に雇用の確保、社員寮の確保、新たな派遣先を求めている」「年末年始の体制は12月28日まで、新年は1月4日から開始とする」と言っていますが、



写真(上) 盛林診療所バザーでの一コマ。与謝野町から民商の仲間が、恒例の魚やカニを売りに来られていました。

寮を追い出されて年を越せるか悩んでいる人の状況を考えたなら、市町村とも連携して緊急の相談や避難場所をつくる必要があります。さらに、ジャトコや三菱自動車などは、厚生労働省の「雇用などに関する通達を知らない」と言う状況もあり、通達の徹底は急務です。申し入れの後に、当面81戸を住居の確保とすることと申し込み先を府の出先機関で行うことになったと連絡がありました。常にたたかかってこそ要求が実現していくことを学びます。西陣の道具類や仕事おこしの対策も要求あるものを先頭に行政へと働き掛けること、そして議員団の論戦をしつかりと行うことがより一層必要になっていきます。

